

中世の景色が残る魔法の国

# チェコ ČESKO

プラハ/チェスキー・クムロフ/テルチ/  
クトナー・ホラ/カルロヴィ・ヴァリ

西はドイツ、北はポーランド、東はスロヴァキア、  
南をオーストリアと国境を接する中欧チェコ。  
誰もが想像する可憐なるヨーロッパの街並みと  
伝統文化が残るチェコを旅してみよう。



カレル橋の橋塔から見た旧市街とプラハ城

## プラハ PRAHA

チェコの首都、プラハ。  
旧市街が世界遺産に登録されている街には、  
古きよきヨーロッパの空気が漂っている。

## いにしえの“王の道”を 通りプラハ城へ

神聖ローマ帝国の首都として栄えたプラハ。街の中心にはスメタナの交響詩にも謳われるヴルタヴァ(モルダウ)川が流れ、両岸には重厚な石造りの建築物がひしめく。その美しい街並みはヨーロッパでも有数で「ヨーロッパの魔法の都」「建築博物館の街」「百塔の街」などプラハを賞賛する言葉は、枚挙に暇がない。

かつて歴代の王が戴冠パレードを行った「王の道」は、プラハのお散歩ルートとして定着している。スタートは旧市街の東、市民会館に隣接した火薬塔で、ショップが並ぶツェレトゥナー通りを西に進むと旧市街広場へとたどり着く。その後、迷路のように入り組んだカレル通りを歩いて、ヴルタヴァ川に架かるカレル橋へ。到着したら、橋の東のたもとにある橋塔へ登ってみよう。西を向けばカレル橋とその向こうにそびえるプラハ城、東を向けばオレンジ屋根の街並みと無数の教会の塔が広がり、360度どこを向いてもすばらしい眺めが楽しめる。30体の聖人像が見守るカレル橋を渡った先は、王宮のあるマラー・ストラナ。坂道を上った先にあるプラハ城が「王の道」のゴール地点。プラハの見どころをぎゅっと集めたルートになっているので、1日たっぷり時間をとって歩いてみたい。



旧市街広場にある天文時計は、プラハのシンボリック的存在

さまざまな年代の建造物が並ぶ旧市街広場



プラハ城内の聖ヴィート大聖堂にはムハのデザインしたステンドグラスがある



カレル橋に並ぶ聖人像のひとつ、聖ヤン・ネボムツキー。プラハの守護聖人だ



王の道の入口に立つ市民会館



# 知りたい！ チェコのカルチャー

プラハでは、音楽から芸能、芸術と、伝統的なカルチャーに触れられる体験がたくさんある。まずは音楽。スメタナやドヴォルザークといった世界的な音楽家を多く輩出しているチェコでは、クラシック音楽の人气が根強い。芸能では、チェコならではのマリオネットという人形劇に注目。昔ながらの舞台で行われる人形劇は一見の価値あり。最後はアート。チェコを代表するアーティストといえば、ムハだ。活躍したフランス語での呼び名は「ミュシャ」で、こう言われるとピンと来る人も多いだろう。右では、各カルチャーを体験できるスポットを紹介。

マリオネットは  
おみやげにも人気！



ピルスナーのほか黒、アンバーなど種類もさまざま

## チェコビールを 楽しむ3Ways

チェコのビールは、最高においしい！国民1人当たりのビール消費量は世界一で、日本でも定番のピルスナービールはチェコのプルゼニューが発祥。チェコでは、ビールはもはや文化なのだ。最近では日本でもチェコのビールが味わえるが、現地で飲む生のドラフトビールは、味も香りも段違い！ビールメーカーも無数にあり、最も有名なのがピルスナービールを生み出したピルスナー・ウルケル。また、町ごとにさまざまな地ビールがある。とっておきのビールを味わいたいならホスポダへ！ほかビール風呂のスパやコスメなどユニークな楽しみ方もチェックして。



ビールのおともに  
チェコ料理を！

## 音楽

クラシック音楽のコンサートは大型のホールや劇場などさまざまな場所で行われているが、なかでもおすすめなのが教会を利用したコンサート。古い教会は雰囲気・音響効果とも抜群で、音が真に迫ってくるような大迫力。一度は耳にしたことのある名曲を演奏することも多いので、クラシック音楽に詳しくない人でも楽しめる。

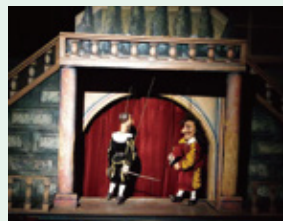
壁の中の聖マルティン教会  
Kostel svatého Martina ve zdi  
URL: <https://martinvezdi.e-cirkev.cz>



## マリオネット

18世紀、他国の支配を受け母国の文化や言語が禁止されていた時代、唯一チェコ語の使用が許されていた人形劇は、今もチェコ人にとって特別なもの。人気の演目はいくつかあるが、代表的なものがモーツァルトのオペラ『ドン・ジョヴァンニ』。旧市街にある国立マリオネット劇場では、夏季ならば毎日上演している。

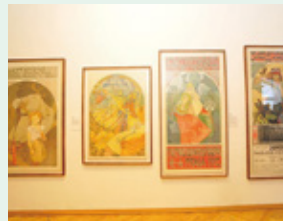
国立マリオネット劇場  
Národní Divadlo Marionet  
※2023年4月現在、休演中。再開時期は未定。



## アート

アール・ヌーヴォーを代表する画家・ムハは、チェコ東部のブルノ近郊で生まれた。フランスで活躍したあとは祖国へと戻り、大作『スラヴ叙事詩』を制作。ほかにもプラハ市内の市民会館にある『市長の間』の天井画やプラハ城内の聖ヴィート大聖堂のステンドグラスを手がけた。新市街にはムハの作品約100点を収蔵・展示するムハ美術館がある。

ムハ美術館  
Mucha Museum  
URL: <https://www.mucha.cz>



## ホスポダ

チェコ版のビアホールがホスポダ。プラハには数かぎりないほどのホスポダがあるが、最も有名なのがチェコ語で「黄金の虎」という意味のウ・ズラティーホ・ティグラ。チェコに国費が来たときに案内するといわれるほどの有名店だが、雰囲気はいたってカジュアル。ノンフィルターと呼ばれる無濾過のビールは、うまさピカイチ。ぜひ試してみてください。

ウ・ズラティーホ・ティグラ  
U Zlatého Tygra  
URL: <https://www.uzlatehotygra.cz>



## ビアスパ

ビールのお風呂につかりながらリラックスできる、チェコならではのスパ施設がビアスパ。ビール樽をイメージした湯船には、ホップとビール酵母が入ったお湯が張られ、利用者は飲み放題のビール片手にリラックスできる。ビール風呂には美肌や新陳代謝を促す効果があるそう。水着着用可のため、友達同士数人で訪れるのが断然楽しい！

オリジナル・ビア・スパ  
Original Beer Spa  
URL: <https://www.beerspa.com>



## コスメ

チェコみやげの定番として知られるのが、ビールを使ったコスメ。プラハの旧市街にある人気のショップ、マニファクトゥーラでは、石けんやクリーム、シャンプーなどオリジナルのビールコスメを販売している。ビタミン豊富なホップやビール酵母が配合されたコスメで、しっとりすべすべの肌を手に入れよう！

マニファクトゥーラ  
Manufaktura  
URL: <https://manufaktura.cz>



値段も手頃なので、友達へのおみやげにもぴったり

# \ プラハからひと足延ばして / チェコの美しい地方都市へ



プラハを飛び出して、地方の街へと出かけてみよう。  
美しい旧市街をもつ2つの古都に、ユニークな教会、  
温泉地まで個性豊かな4つの街をピックアップ！

## ヴルタヴァ川に抱かれた「世界で最も美しい街」 チェスキー・クルムロフ ČESKÝ KRUMLOV

13～16世紀にかけて繁栄した、南ボヘミア地方の中心地。ヴルタヴァ川を中心に開けた旧市街がユネスコの世界遺産に登録されている。街を見下ろす高台にはこの地の歴代支配者が居城としたチェスキー・クルムロフ城が立ち、塔の上からは旧市街が一望できる。川に囲まれた狭い範囲にオレンジ屋根の家々が密集する様子は「世界一美しい」という形容詞にふさわしい。プラハからはバスで約3時間と日帰り圏内。



ふとした街角の風景もフォトジェニック！

ショートトリップ先としても人気だが、時間があるならぜひ1泊してみてください。昼間は観光客でごった返すが、夜になると雰囲気は一変。人気のない旧市街を歩くと、中世にタイムスリップしたような錯覚に陥ってしまう。

チェスキー・クルムロフ城の庭園から塔と旧市街を眺める



スグラフィット装飾の壁。立体的に見えるが、実はすべて絵になっている



街の中心となる広場にはさまざまな屋台が出る

ザハリアーシュ広場。建物はみやげ物店やレストランとして利用されている



## 交通の要衝として栄えた中世の街並み テルチ TELČ

チェコの国土は、プラハを中心としたボヘミア地方、ブルノを中心としたモラヴィア地方の2つに大きく分けることができる。この2つの地方のちょうど中間に位置するのが、高原の街・テルチだ。オーストリアのウィーンからプラハ、またリンツからブルノを結ぶ中継点でもあり、古くから交通の要衝として栄えた。街の中心はザハリアーシュ広場。東西に細長い広場を取り囲むようにパステルカラーの家々が並ぶ風景は、まるで童話の世界。見どころは旧市街にコンパクトにまとまっているので、半日あれば十分に回れる。雰囲気のいいカフェやテラスが素敵なレストランも多いので、1日ゆっくりと過ごしてみるのがおすすめだ。

旧市街モチーフのオブジェをおみやげに



広場の奥にあるテルチ城



オープンエアのカフェで地ビール

個性的な教会を回る

# クトナー・ホラ KUTNÁ HORA

プラハの東約65kmにあるクトナー・ホラは、世界でもここにしかない恐ろしい教会で有名だ。その名は、墓地教会(納骨礼拝堂)。周囲を墓に囲まれたこの教会、怖がりの人は内部に入るのを遠慮したほうがいいかもしれない。なぜなら、装飾もシャンデリアも骨、骨、骨……。教会内部は4万人もの人骨で飾り立てられているのだ！骨はペストや戦争の犠牲者のものが多く、こうした装飾に使われたのは19世紀後半頃とされている。街にはほかにも後期ゴシック様式の傑作といわれる聖バルバラ教会、ゴシック様式の教会としてはチェコ最大という聖母マリア大聖堂もあり、旧市街全体がユネスコの世界遺産に登録されている。



斜面の上に立つ聖バルバラ教会



内部の祭壇やステンドグラスもゴージャス(聖バルバラ教会)



見渡すかぎりの骸骨に圧倒される(墓地教会)

※2023年5月現在、墓地教会の内部撮影は禁止



この地方の支配者の紋章も骨でできている

山間に開けた温泉保養地

# カルロヴィ・ヴァリ

## KARLOVY VARY

チェコの西部、ドイツとの国境に近い場所にあるカルロヴィ・ヴァリは、チェコを代表する温泉保養地。なお温泉といっても、日本の温泉地とは少し違う。チェコでは、温泉は湯船にためてつかるものではなく、飲むもの。飲泉が一般的なのだ。街にはコロナーダという飲泉所がいたるところにあり、人々は専用の飲泉カップ片手にコロナーダをはしごする。ちなみに、飲泉所はそれぞれ源泉が違うため温度や効能が違う。温泉は決しておいしいものではないので、口直し(?)にスパ・ワッフルというクリームをサンドしたワッフルを食べる。右手に飲泉カップ、左手にスパ・ワッフルという定番のスタイルで、街を回ってみよう。

街で最も美しいムリンスカー・コロナーダ



ボヘミアンガラスの有名メーカー、モーゼルの工場も



持ち手が飲み口になっている飲泉カップ



川の両脇にカラフルな街並みが広がる



### ジェネラルインフォ in チェコ

**時差:**日本より8時間遅れ。サマータイム実施期間(3月最終日曜~10月最終日曜)は7時間。  
**ビザ:**180日間で90日以内の滞在なら不要。  
**通貨:**チェココルナ(2023年4月現在1Kč=6.2円)  
**物価:**宿泊費や外食費など、日本とほぼ変わらない。プラハなど都市部や観光地は割高。  
**ベストシーズン:**内陸部のため夏は暑く、冬の冷え込みも激しい。6~7月の初夏や9~10月の秋口が過ごしやすくおすすめ。

#### 現地ユースホステル情報

<https://www.czechhostels.com/en/>

詳細は『地球の歩き方 チェコ  
ポーランド スロヴァキア編』  
『aruco チェコ』へ



#### チェコへの入国について

2022年4月9日から、新型コロナウイルスに関する入国制限はすべて解除されている。ワクチンや感染からの回復、陰性などの証明はすべて不要。ただし、疫学的リスクが高い特定国からの入国は除く(日本は含まれていない)。日本からチェコへの直行便はないため、経由地によっては証明書が必要となるので注意。

日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟(Hostelling International)や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

こどもはおとなに。  
おとなはこどもに、  
なれる場所。



# Hostelling Magazine vol.33



Cover Interview  
知花くらら  
窓の数だけある  
人々の「暮らし」を見つめて

P.02



Youth Hostel Pick up  
札幌国際ユースホステル  
旅に魅せられた2人がつくる  
集い、つながる宿

P.08



Hostelling Magazine  
× 地球の歩き方  
中世の景色が残る魔法の国  
チェコ

P.12



PLAtZ

P.16



おしえて! 旅GIRL

P.17



松島むうの  
晴れときどき旅びより

P.18



YH-GUIDE  
ユースホステルガイド  
北海道/東北地方

P.20



Hostelling Magazine vol.33  
まとめてダウンロード

※本誌の情報は2023年6月20日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL.(03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。